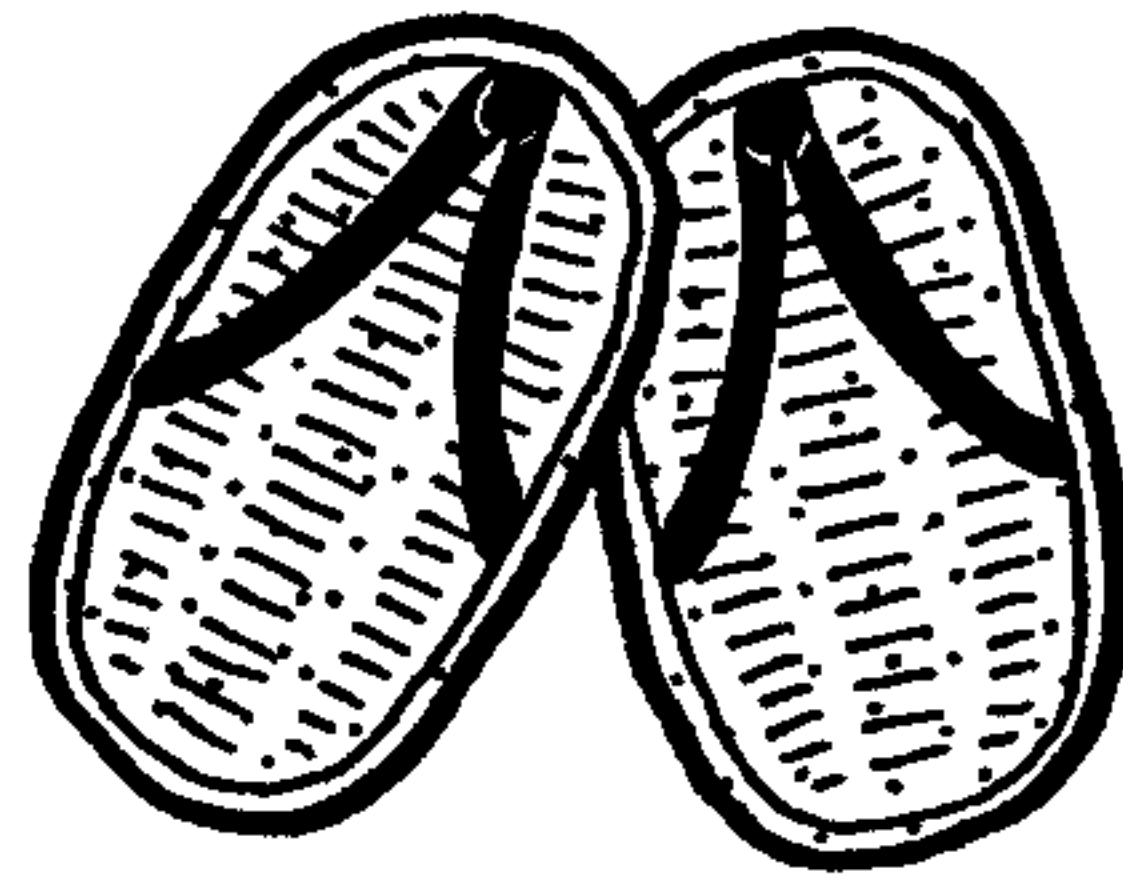


布ぞうり作り

(所要時間 約3時間)

材 料

- ロープ …長さ 1.5~2mくらいのもので2本
太さ 8~9mm理想 10mm可
- 布 …幅 1.5~2cmくらいに裂いたものが理想
- たこ糸 …50cmくらい



【ロープについて】

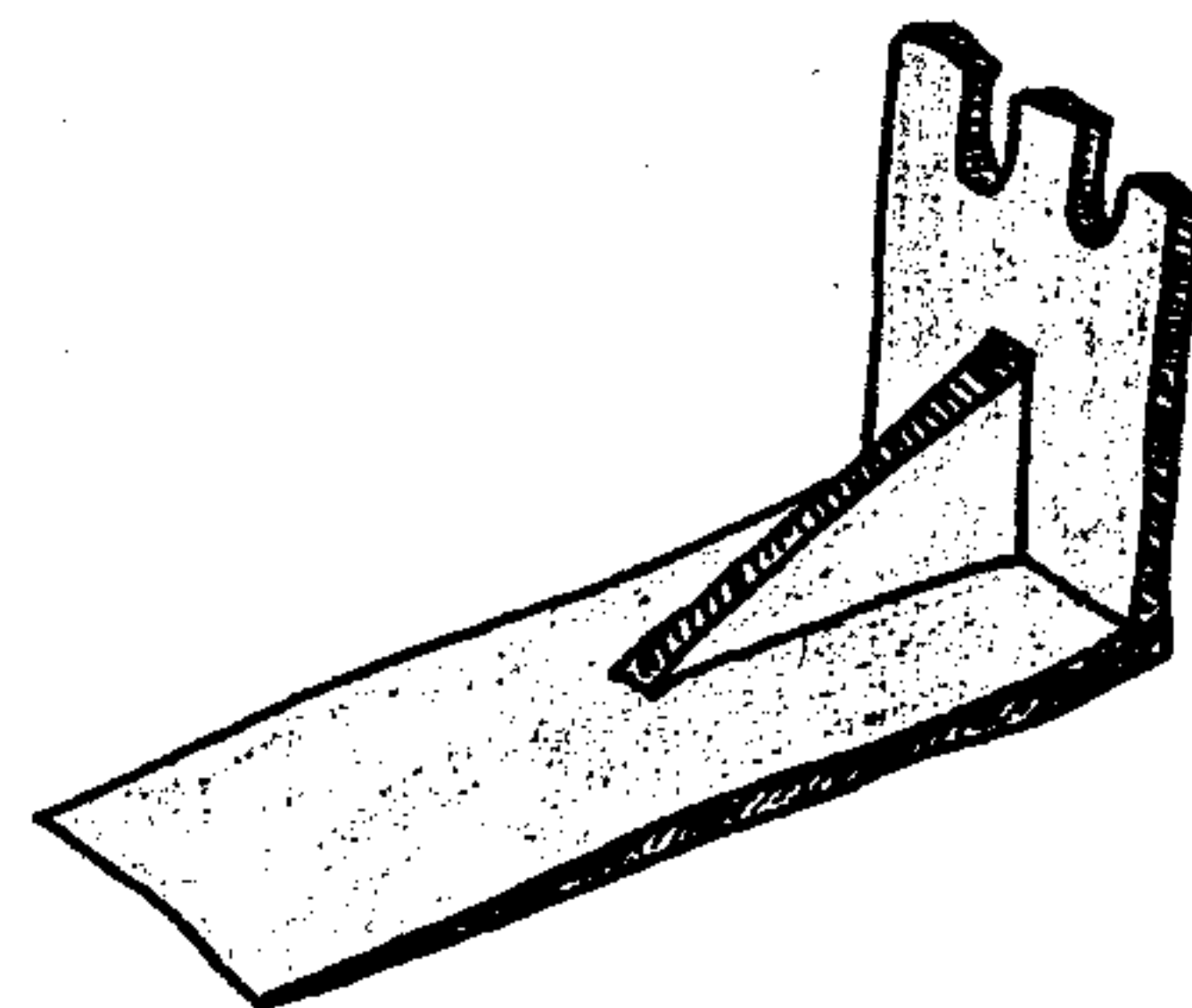
- ・ロープが細いとぞうりが小さくなり、厚さが薄くなって完成後使用しにくい。
- ・ロープの両端を結びこぶを作る。これは作る途中で抜けないようにストッパーとなる。
- ・ロープは途中で結び目がないものを使用する。これは完成時に引き締めるので、途中縫い目があると引けない。

【布について】

- ・布の量はぞうりの作り方によって、また大小によっても違うので、一定していない。(おおよそ浴衣なら半身分、シーツなら1~1.5枚分)
- ・幅は1.5~2cmくらいに裂いておく。長さは1mくらいが適当と思うが、それよりも長くても短くてもよい。ただ極端に短いと継ぐのがはげしくなり、また長すぎると編む時にロープの中からはなかなか抜けないので、作るときに時間がかかる。

作 り 方

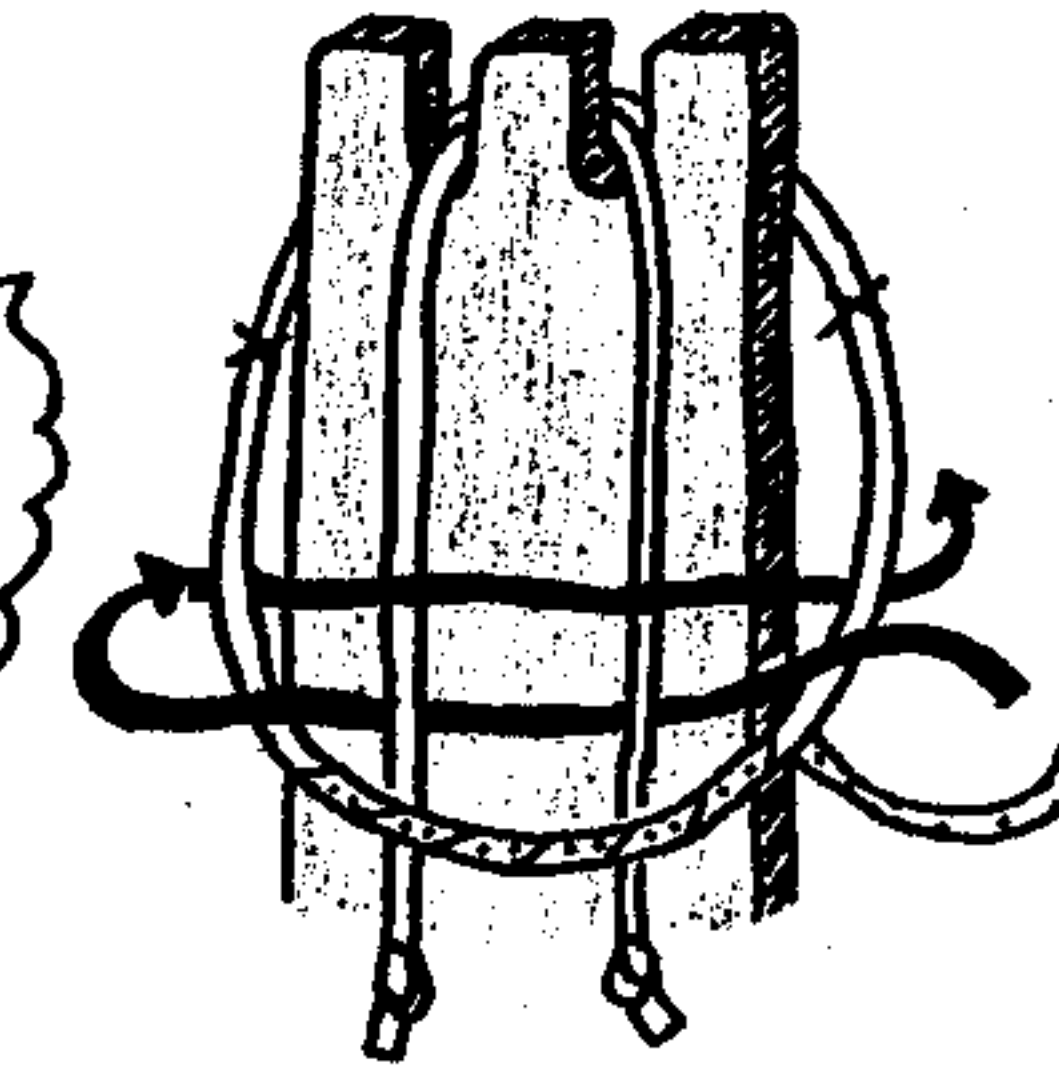
1. ロープのかける台を固定する。
2. ロープを持ち、中心を決める。



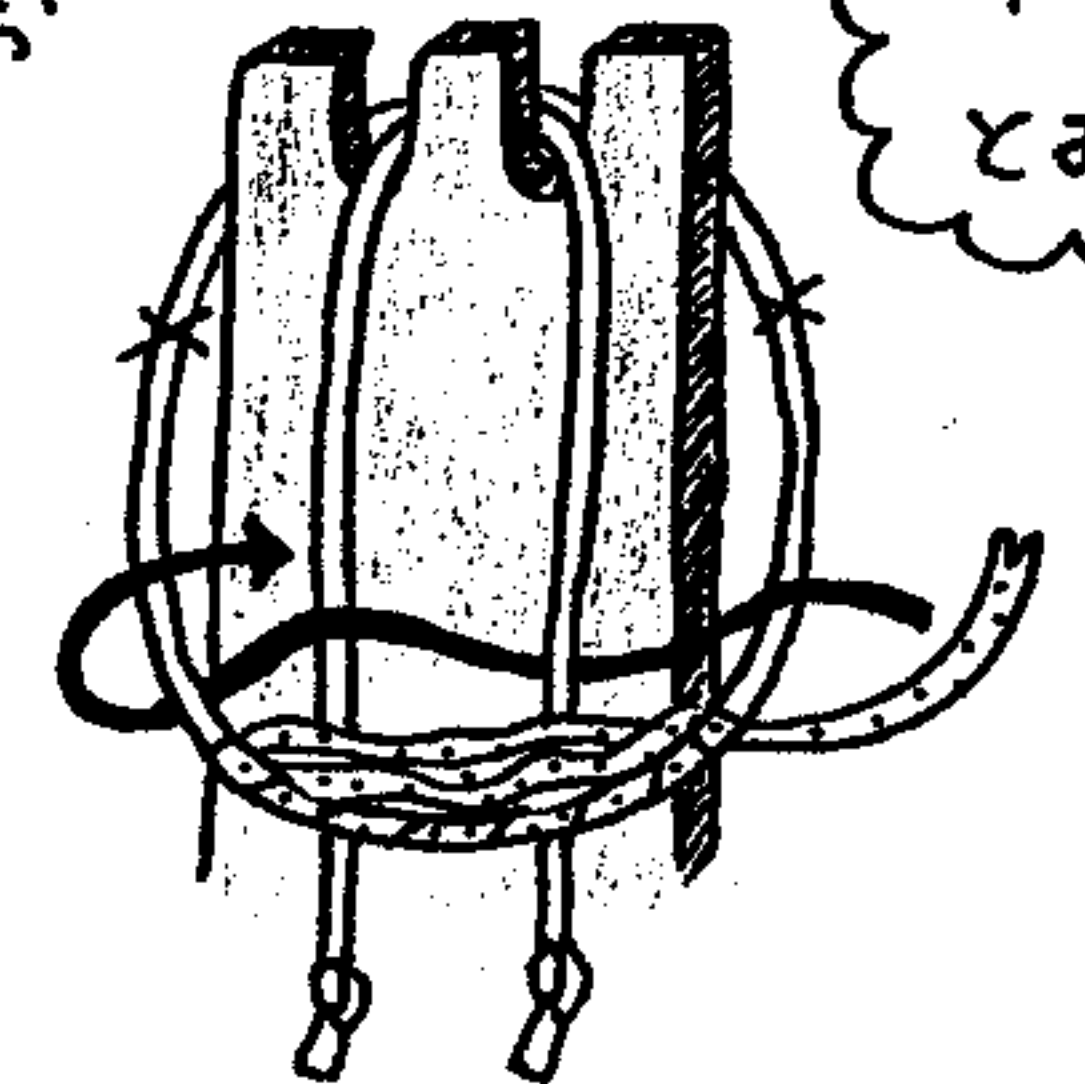
3. 中心に裂いた布を5cmくらい巻きつけ、残った部分はそのままにしておき、巻いた部分を持ちロープの両側を固定した台にかけ、両先は手元に置く。かける場合にロープの中に2本が入るようにかけると作りながら編みやすい。
※最初に巻きつけた布の色合いは片方に使うので、色を気にする人は最初に1足分(2本)を準備しておくといよい。

※鼻緒の位置に注意のこと。

はじめの4段は
中2本を1本として
上下にしておす。



×…はなお
位置



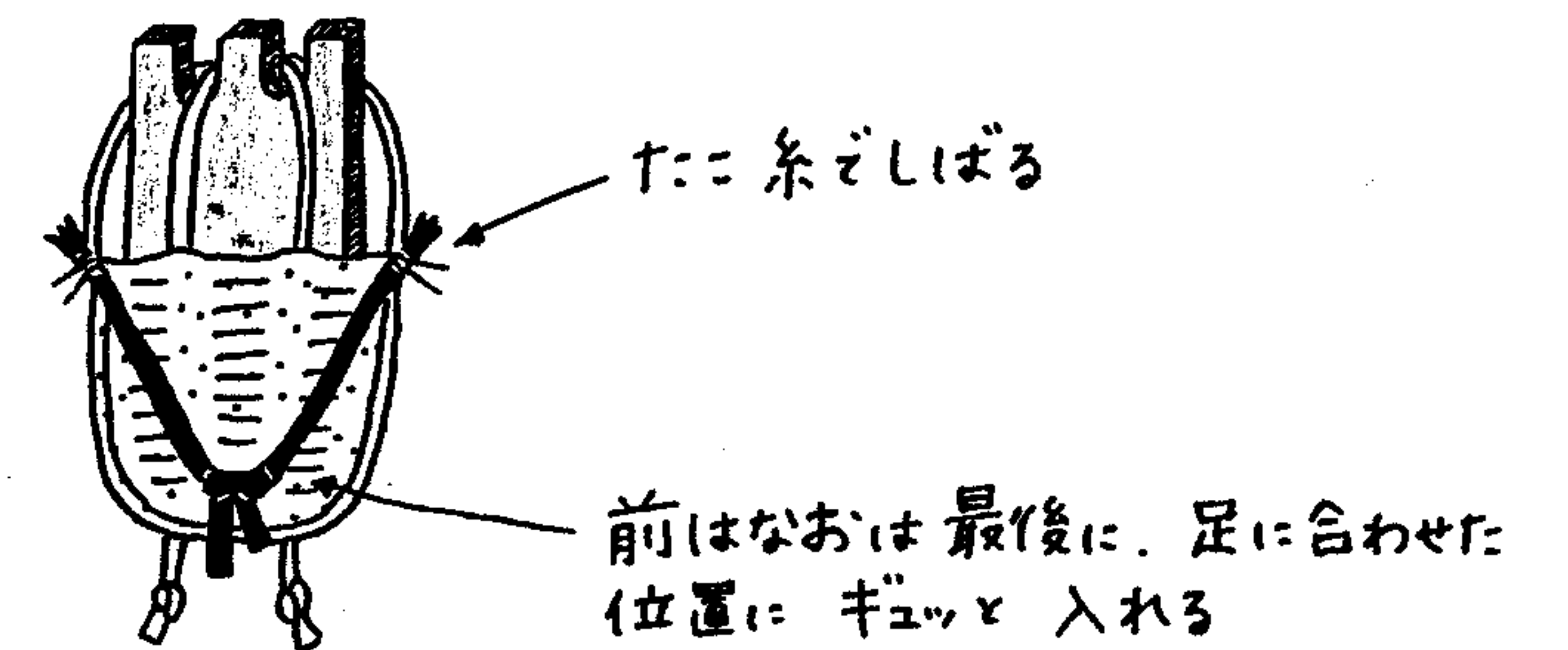
5段目からは
4本に上下と
とおす。

【鼻緒の作り方】

鼻緒は裂いた布を三つ編み等太めにするとよい。(げたやぞうりを参考に)
(他、よる、ミシンで縫う、バイヤスと毛糸でつくる など)
三つ編みにするとき途中から編み始め、鼻緒の長さまで編み、さらに布は残しておくこと。

【鼻緒の付け方】

ぞうりを作りながら鼻緒の取り付け位置(下駄等から判断し、自分の足と比較して決める)まで編んだら、鼻緒をその部分にあて、両端の編んでない部分をぞうりに編み込み、さらにかかとの部分まで編んで大きくする。
ぞうりの大きさについては、後でロープを引き締めるので縮む部分を考慮して大きめに編むことが必要。



4. 鼻緒を入れ足の大きさまで編んだら、布は残さないように編み込む。(裏で結んでもよい)最後に台から取りはずし結び玉が付いているロープを引き締めできあがり。
できたぞうりに前鼻緒を付けて完成品となる。